



Rainbow letter

2018.1
No.13

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

第14回日本周産期メンタルヘルス学会報告

大会長 佐藤 昌司 (大分県立病院総合周産期母子医療センター所長・産科部長)

第14回日本周産期メンタルヘルス学会は、平成29年10月28日(土)、29日(日)の2日間、大会テーマを「こころも、視る。」として、大分県医師会館で開催いたしました。2日間の参加者人数は385名と多数の周産期医療関係者の方のご参加を頂きました。可及的にシンプルで、コアなプログラムにするべく、会場は1会場での直列プログラムで、基調講演、招聘講演、教育講演に続いて、シンポジウムとワークショップを各2題、ポスターセッションと‘ほぼ缶詰状態’の2日間で、さらに台風通過の「劣悪な気象条件」のなか、多職種の皆様に全国からお集まりいただき、かつ熱い討論の場を設けて頂きましたことを心よりお礼申し上げます。大分国際車いすマラソン(荒天中止)をご覧いただけなかったのが唯一の心残りですが、‘暴風雨の中での学術集会’として御記憶に留めていただければと存じます。

来年は神戸女子大学看護学部玉木敦子先生が会長をされ神戸市で開催されます。是非とも一人でも多くの方にご参加いただき、盛会となりますことを心より願っております。



皆様、熱心に耳を傾け、講演終了後にも講師の先生方に質問や議論を持ちかけるなど、会場は終始熱気に包まれていました。



‘暴風雨の中での学術集会’第2日の午後、会場から見える空に虹がかかりました。皆様の心にもきれいな虹がかかりますように・・・。

第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会について

大会長 玉木敦子 (神戸女子大学看護学部看護学科教授)

第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会を神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(兵庫県神戸市)で開催することになりました。このような貴重な機会と関係の皆様のご支援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

さて、妊産婦を取り巻く環境は、少子化、出産の高年齢化、コミュニティの結びつきの希薄化など近年急激に変化しており、母親の孤立や子育て不安の増大は大きな問題となっています。このような中で、現代に生きる妊産婦のメンタルヘルスを健康に維持するために、妊産婦に寄り添い、支えることが強く求められているのではないのでしょうか。そこで、今回の学術集会のテーマを「いま、あらためて『寄り添う』を考える」としました。「寄り添う」とは「そばに(びったり)寄って、離れずにいること」を意味します。つまり、前から引っ張るのではなく、後ろから押すのでもなく、侵入するのではなく、離れるのでもない。ぴったり寄り添い、それを継続するということです。人の心は一人一人違うし、気持ちは変化し続けることも考え合わせると、それは実はとても難しいものです。本学会を通して、妊産婦やその家族の体験、思い、ニーズとは実際どんなものなのか、また「寄り添う」ケアやアプローチとは何なのかについて、多様な視点・立場からあらためて考えてみたいと思います。さらに妊産婦のメンタルヘルスの維持・向上のために、それぞれの職種や周囲の人は何をどのようにすれば良いのか、妊産婦の思いに「寄り添って」議論できる機会となれば、この上ない喜びです。

会場となる神戸には、港や六甲山の自然、夜景、スイーツやグルメ、JAZZなど様々な魅力が溢れています。会員の皆様による実践活動報告や研究成果発表とともに、多くの方々の学術集会へのご参加を、心よりお待ちしております。

第15回
日本周産期メンタルヘルス学会
Japanese Society of Perinatal Mental Health
学術集会

いま、あらためて「寄り添う」を考える

日時 2018年 **10月27日(土)・28日(日)**

場所 神戸女子大学
ポートアイランドキャンパス

大会長 玉木 敦子
神戸女子大学
看護学部看護学科教授

日本周産期メンタルヘルス学会事務局
〒514-8507 兵庫県神戸市東灘区1577 三宮大学保健管理センター内
http://jpmh.jp/index.html TEL 080-3622-6911 E-mail mental-3@hac.mie-u.ac.jp

事務局便り

学会誌Vol.4(2018年5月～7月頃発刊予定)への掲載対象となる投稿は12月15日で締め切りました。日本周産期メンタルヘルス学会では、通年で学会誌への投稿論文の募集を行っております。皆様のご投稿をお待ちしております。ご投稿いただきます際は、投稿規定をご確認ください。次の学会誌への投稿期限はWebページ掲載・会員メール配信等でお知らせします。

(投稿記事募集!)

みなさま、あけましておめでとうございます。今年も会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。詳しくは学会Webサイト(<http://pmh.jp/index.html>、QRコード(→))

または、学会事務局(mental-3@hac.mie-u.ac.jp)まで。

*企画・発行: 日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

